

使用者の声

「総合殺菌剤 フロンサイドSC」の使用感について、インタビュー！
生産者様の声を紹介いたします。

総合殺菌剤
石原 **フロンサイド**[®]
SC

【かんしょ】宮崎県 米満さん

**基腐病に効果が高く、
効き目も長く持続するので安心。
大事な種芋も貯蔵中に腐らず長持ち。**

日本有数の酒造メーカーが拠点を構える都城市で、焼酎原料甘藷部会の会長として活躍している米満さんは、焼酎用かんしょ13.5haのほか、ばれいしょ2ha、さといも25aを主に両親と奥様の4人で栽培しています。

**基腐病防除では、フロンサイドSCが
効果と残効性の面でピカイチ。**

「かんしょ栽培は品質がもちろん大事。とにかく反収を上げるために頑張っています」と話す米満さんですが、最近は数年前に大発生した基腐病の防除対策に気を使われているそうです。その基腐病については、「感染して腐敗が始まるとあっという間に進行してしまい、たった1週間で収穫できないような状況になります。収量が減り、その分収入も落ち込みかなりのダメージがありました」と、苦慮されたご様子。

そのため部会では、基腐病対策として『早植え・早掘り』の実施を勧めているそうです。また、薬剤防除についても重要だと感じているそうで、「JAや普及センターの指導もあっていろいろな剤を試しました。その中でも、フロンサイドSCは基腐病に対して効果が一番長く続き、効き目も優れていると思いましたね。また、次年度用の種芋を貯蔵する際も腐りにくく長持ちし、フロンサイドSCを散布していない圃場との差が歴然でした」と高い評価をいただきました。



**質の良いかんしょを安定供給するため、
土作りにはこだわる。**

フロンサイドSCの散布タイミングについて何うと、「ブームスプレーヤを使って、植付け後に2回、フロンサイドSCを散布しています。基腐病が発生する前に散布することが大事なので、毎日圃場を歩いてかんしょの生育状況を確認し、葉色の些細な変化から散布時期を見極めていきます」とのお答えが。まさに長年かんしょに向き合ってきたからこそなせるワザです。

今後の目標は「安心・信頼してもらえるような質の良いかんしょを供給していきたい」と話す米満さん。そのために最も重視しているのが土作りで、「堆肥、牛糞、豚糞を投入して作付けし、収穫後はエンバクを撒いて土壤環境を改善しながら、線虫の密度も抑えるようにしています」と教えてくれました。そして、植付け後に使用するフロンサイドSCについては「効果が長く安心できるのでこれからも使用したいと思います。また、フロンサイドSCの効果をまだ知らない部会員にも、使うよう勧めていきます」と嬉しいお言葉をいただきました。

※取材時(2025年8月)における個人の感想をもとに作成しています。

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。